

介護現場の声かす

高木副大臣 人材確保などで要望書 に党都本部



公明党東京都本部(代表
高木陽介衆院議員)の「介
護・医療対策本部」(本部

長高倉良生都議)は6日、
厚生労働省で高木美智代厚
労副大臣(公明党)に対し、

介護人材の確保など
に関する厚労相宛て
の要望書を手渡し
た。高木都代表、高
倉本部長、都議、区
市議の代表が参加
した。

党都本部は、超高
齢社会の重要課題で
ある介護・医療の充
実に向け、今年1月
に対策本部を設置。

(中
央)に
高木
副大
臣
高倉
本長
部代
表(左
右端
)ら
6日
厚労
省

まずは介護問題に取り組
もうと、4月からの「100万
人訪問・調査」運動と並行し
て、都本部所属の全議員が
介護事業者などへの聞き取
り調査を行い、現場の声を
今回の要望書にまとめた。

要望では人材確保に関し
て、人材の紹介・派遣を行
う企業に事業者が支払う紹
介料の高騰などに触れ、公
的人材バンクの充実ととも
に、紹介料などの指針を早
急に策定するよう提案。介
護職のイメージアップに向
けた教育の充実や介護報酬
の引き上げ、事務処理負担
の軽減なども求めた。

高木副大臣は「どれも身
に染みている内容だ」とし
て、検討する考えを示した。